

普及センターだより

No.134

# MISATO



## 満開期の「北浦梨」と、ほ場の気象データ測定

美里町特産の歴史ある「北浦梨」生産を次世代に託すため、新規プロジェクトとして、ICT活用による栽培の「見える化」を行います。  
(詳細は、令和6年度プロジェクト課題の紹介を御覧ください。)

## 普及の窓 東部大崎地域農業の持続的発展を目指して

所長 長谷部 幹

近年における世界の食料需給の変動や地球温暖化の進行、人口減少に伴う農業者の減少や高齢化など、農業・農村を巡る情勢が大きく変化する中で、農業の持続的な発展を図り、食料安全保障を確保するため、国においては、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法の見直しが行われています。

中でも、今後、人口減少が避けられない中で、如何に生産を維持し、持続可能な農業を実現していくかという視点は、大変重要なことであり、そのための方向性の一つとしては、担い手の経営力強化や産地の体質強化・育成、環境負荷低減の取組等を推進する中で、収益性の高い農業を実現していくことではないかと考えております。

当普及センターでは、4月より3人が転入し新体制となりました。管内で営まれている多彩な農業、これを将来にわたり維持・発展していくため、関係機関や農業者の皆様と連携・協力しながら、所員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 令和6年度プロジェクト課題紹介

3つのプロジェクト課題に取り組みます！

### 土地利用型法人の経営戦略の策定と持続的経営の展開

農事組合法人おおぬき彩土里ファームは、大崎市田尻地域で令和3年8月に設立された土地利用型法人です。経営面積は約80haと大きいものの、組合員の高齢化や担い手の減少、今後の法人運営の方法に課題がありました。昨年度は、研修会を通して経営管理や人材雇用について学び、今後の経営方針を見直して将来ビジョンを策定しました。また、農閑期の業務創出及び収益向上のため、さつまいもの試験栽培を実施し、品質・収量ともに良好な結果が得られました。

今年度は、経営面において、業務効率化のための乾燥調製施設の導入が予定されていることから、資金繰りの考え方など経営管理能力向上を支援します。また、栽培面において、さつまいもに加えて元々個人で栽培されていた長ねぎを、本格的に法人の経営品目に加えることから、栽培技術向上と経営収支に関する分析を実施します。



経営管理研修会

### 「北浦梨」産地の活性化に向けた、ICT活用による栽培の「見える化」



収穫を待つ「北浦梨」

大正時代から栽培が始まった美里町の「北浦梨」は、現在約40人の生産者によって生産されています。果樹は年1作であるため、ベテラン生産者が感覚的に行っている栽培管理技術を後継者や新規栽培者が習得し、円滑に経営継承するためには、デジタル技術を活用した農作業・生育状況・栽培環境等の「見える化」が重要です。

そこで、本プロジェクトでは、JA新みやぎ北浦梨部会若手生産者及び新規参入事業者を核として、気象データ収集展示への設置等による「栽培環境の『見える化』支援」や、病虫害発生消長の調査と情報交換を行うネットワークづくり等による「病虫害発生の『見える化』支援」、栽培管理や経営管理の記録支援等による「経営の『見える化』支援」に取り組むこととしています。

### 堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量の向上

涌谷町は県内有数の小麦産地で、令和5年産で146haの作付があります。令和5年度に町内に2か所のストックヤードが建設されたことから、耕畜連携及び品質・収量向上のため、麦作への堆肥の活用方法について検討しました。

堆肥は散布・運搬に時間を要することから、比較的農作業の少ない時期に散布作業を行うことができるよう、麦生育中の3月に堆肥を施用する試験を行ったところ、生育への影響は見られず、施用は場では収量、千粒重が向上しました。

また、管内で作付が多い「夏黄金」は弱小穂発生が多く、品質・収量が不安定なことが課題であるため、登熟後半の窒素肥効を向上させる葉面散布追肥の検討を行いました。

本年は、前年度の結果を踏まえ、施用量の調節などを行い、堆肥施用や新しい施肥技術の確立を目指します。



麦類現地検討会

農作業安全「徹底しよう！農業機械の転落・転倒防止」

**重点的な普及活動の紹介**

活動項目	内 容	対 象
新規就農者の確保・育成に関する取組	新規就農者の確保・育成を図るため、就農や研修に関する相談に対応します。また、新規就農者の機械・施設等の導入や資金等の活用に向けて、就農計画の作成や研修、情報提供などの支援を行います。	新規就農者 農業研修生 教育機関 学生
関係者と連携した土地利用型園芸作物の安定生産	水田フル活用による収益性の高い水田農業の確立を推進するため、美里管内で取組が拡大している「たまねぎ」や「さつまいも」、「にんじん」等の土地利用型園芸作物について、関係機関と一体となって栽培技術の向上及び販路の確保を支援します。	J A 新みやぎさつまいも研究会 たまねぎ栽培志向生産者 露地園芸作物生産法人 等
地域農業担い手の経営発展に関する取組	「地域計画」の実現と地域農業の持続的発展に向けて、担い手の経営課題解決と経営体質強化に向けた取組を支援します。経営発展を目指す経営体の法人化や経営の安定化、経営管理能力の向上、事業継承に向けた取組をサポートします。また、地域での合意形成に向けた支援も行います。	経営発展を志向する経営体
ニーズに対応した特色ある米づくりの取組支援	歴史的背景とリンクしたブランド米「金のいぶぎ」や、地元酒蔵と連携した酒米「吟のいろは」の生産、環境負荷低減などから近年注目が集まっている有機栽培米など、アグリテックを活用しながら、特色ある米づくりの安定生産及び品質向上を支援します。	「金のいぶぎ」生産者 松山町酒米研究会 大崎市有機農業・グリーン化推進協議会

**農業士の紹介**

**令和6年4月1日付けで新たに認定を受けた農業士\*をご紹介します！**

\*県では、優れた農業経営を実践し、農業人材育成と地域農業振興に貢献している農業者を「農業士」として認定し、研修や交流等の活動を行っています。

指導農業士 <sup>ししど</sup> 宍戸 <sup>たけし</sup> 健さん (美里町、水稻)

地域農業を守るため、農事組合法人みらいす青生の代表理事として土地利用型農業（水稻、大麦、大豆、野菜）129haの大規模経営を行い、ブロックローテーションや雇用による周年就労など収益性の高い農業を展開しています。



**みやぎアグリテックアドバイザー派遣事業について**



ほ場管理システムの説明

アグリテックとは、農業に、スマート農業技術を含むICT（情報通信技術）等の先進技術を導入することで、省力・軽労化を図るなどの課題を解決することです。県では、アグリテックの導入を検討している農業法人等を対象に、効果的な活用方法等について助言・指導を行う専門家（アドバイザー）を派遣しています。美里普及センターでは、今年の3月に農事組合法人みらいす青生において、「Z-GIS」や「ザルビオ」等のほ場管理システムに関するアグリテックアドバイザーを派遣しており、同法人では社内研修会が行われています。研修会の参加者からは、実際にシステムを操作しながら研修ができたので非常に参考になったとの意見がありました。アグリテックアドバイザーの派遣については、普及センターまでご相談ください。

**農薬危害防止「守ろう農薬ラベル、確かめよう周囲の状況」**

# 美里農業改良普及センター管内の農業の動き

## 大崎地域第1号！株式会社こうだいらプラントが「みどり認定」を受けました！

大崎市鹿島台の農業法人「株式会社こうだいらプラント」が、大崎地域で第1号となる「みどり認定」を受け、令和6年2月8日に北部地方振興事務所長から公平伸行代表取締役へ認定証が授与されました。「みどり認定」とは、みどりの食料システム法に基づき、農林漁業者が環境負荷低減に取り組む5年間の事業計画を作成し、県から認定を受けることで、税制や金融面の支援が受けられるというものです。

同法人では、平成18年から減農薬・減化学肥料による農業生産に取り組んでおり、スマート農業も組み合わせた計画が認められました。今回の認定をきっかけに、この制度が広く認知され、農業における環境負荷低減の取組がさらに拡大することが期待されます。



## 県農村教育青年会議 農村青年の主張の部で美里4Hクラブ員が最優秀賞を受賞！



令和5年度 宮城県農村教育青年会議

令和6年2月3日に、宮城県青年会館で農村教育青年会議が開催されました。当会議は、県内の4Hクラブ代表者が、農業に対する想いの主張（農村青年の主張）や、日々の活動成果の発表を通じて情報交換を行い、農村の発展を推進することを目的としています。

当普及センター管内で活動する美里4Hクラブの阿部奏斗さんが、農村青年の主張の部で「One for all, all for one.」と題し、「気遣い」の大切さに気づき、それを活かして持続可能な農業を実現したいという想いを発表し、見事最優秀賞を受賞しました。阿部さんは、

令和6年10月に開催される第54回東北農村青年会議宮城大会の宮城県代表として発表することになりました。今後ますますの活躍を期待しております。

## 令和6年度美里農業改良普及センター職員・主な担当業務

は せ べ かん 新  
長谷部 幹 所長（作物・経営）

い の まこと 新  
猪野 亮 技術副参事兼総括次長（作物）

### 先進技術班

#### 先進的農業を担う経営体への支援

- ・ 水稻や大豆、麦、園芸作物、畜産等の栽培・飼育管理技術向上支援
- ・ GAPの導入や6次産業化等の経営発展、高度化の支援
- ・ 環境に配慮した農業技術やスマート農業等の先進的技術の普及

まち なお き  
町 直樹  
技術主幹・班長（作物）

ぬま くら ゆう こ 新  
沼倉 夕子  
技術主幹・副班長（野菜）

さかい まり え 技術主任主査  
酒井 球絵 （作物）

さいとう けん や 技師  
齋藤 憲治 （野菜）

ひらうみ み お 技師  
平海 水緒 （野菜）

ごとう りよ 土壌分析  
後藤 りよ 補助職員

### 地域農業班

#### 地域農業の重点的な課題解決の支援

- ・ 地域農業振興計画や地域営農システム構築の支援
- ・ 集落営農組織や法人化等の支援
- ・ 青年農業者や女性農業者等、多様な担い手の活躍支援
- ・ 新規就農者の経営安定化支援や就農相談

さとう のり こ  
佐藤 典子  
技術主幹・班長（経営・野菜）  
美里町担当

さとう やす ます 新  
佐藤 泰征  
技術主任主査・副班長（花き）  
大崎市鹿島台・松山担当

そね はるか  
曾根 晴佳  
技術主査（果樹・経営）  
涌谷町担当

くす はら ゆか  
楠原 結佳  
技師（畜産・経営）  
大崎市田尻担当

※ 新は、令和6年4月1日付けで新たに配属になった職員

## 発行：宮城県美里農業改良普及センター

住 所 宮城県遠田郡美里町北浦字笹館5  
メー ル msnokai@pref.miyagi.lg.jp  
電 話 0229-32-3115 FAX 0229-32-2225  
H P https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



美里普及  
センター  
HP



みやぎの気候変動に適応した  
農業技術情報サイト+（プラス）  
HP



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用